



[継続的な専門能力開発のための IFLA ガイドライン:
原則とベストプラクティス]

世界の図書館情報専門職を 勇気づけよう

実践の向上をはかり、
新しいテクノロジーを用い、
変わりつつある世界に適応するために

継続的専門能力開発 (CPD) は、学習及び能力開発にかかわるすべての人々、すなわち、雇用主、専門団体、図書館情報学教育者、トレーニング提供者にとって重要な要素です。『CPD のための IFLA ガイドライン』に示す原理とベストプラクティスは、全世界の図書館情報専門職が、専門的な実践を高められるようにするものです。『ガイドライン』の改訂にあたり、CPDWL分科会は、図書館情報専門職がオンラインによる学びへの移行という課題に対処できるよう取り組んできました。質の高いデジタルでの学習環境を整えるためには、オープンな教育資源に支えられた、これまで以上に革新的なコンテンツを導入し、インタラクティブで魅力的な学習経験をすべての関係者に喚起させることに目を向けることが求められます。

学習者

良好で信頼性の高いインターネット接続があることを確かめる
オンラインによる学びにきちんと取り組めるよう、時間調整を進め、計画づくりを行う
他の学習者と交流し、また、協同し、積極的な学びに加わる

雇用主

質の高いオンラインによる学習活動が、業務組織の成果において価値があることを理解する
キャリア形成の本質の一部として、オンラインによる専門職の学習の意義を職員に知らせる
オンラインによるCPD活動を予定し、参加し、振り返る時間を職員が持てるようにする

図書館情報協会

オンラインによるCPDのイベントがベストプラクティスとなるよう、リーダーシップを発揮する
会員がオンラインによる学習成果に関するエビデンスを記録して示せるデジタルプラットフォームを提供する
質の高いオンラインによるCPD活動のプロバイダーを認識または認定するための方針を策定する

図書館情報学教員

オンラインによる専門職の学習の潜在的アフォーダンスを理解して、デジタル技術を操る学生を育てる
オンラインによる学習科目目の設計、提供、運営におけるベストプラクティスのモデルを示す
オンライン学習者として自分自身に投資し、理論と実践の発展状況に精通する

トレーニング提供者

革新的で柔軟かつ自主的な学習を最優先する
オンラインによる学習という方策が、すべての学習者にとってアクセス可能で包括的であるようにする
活気に満ちた学習コミュニティを育成するための社会的なオンライン環境を創り上げる